

教科	算数	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 対称な図形		<ul style="list-style-type: none"> 線対称な図形の意味、対称の軸、対応する辺、対応する点、対応する角、及び線対称な図形の性質や作図の仕方を理解し、作図ができるとともに、点対称な図形の意味、対称の中心、対応する辺、対応する点、対応する角及び、点対称な図形の性質や作図の仕方を理解し、作図ができる。 線対称な図形や点対称な図形の性質を調べたり、作図の仕方を考えたりする力を身に付ける。 身の回りから線対称な図形や点対称な図形を見つけたり、作図したりしようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 線対称な図形の意味、対称の軸、対応する辺、対応する点、対応する角、線対称の性質が分かり、指摘することができる。(知識・技能) 線対称な図形の作図の仕方が分かり、作図できる。(知識・技能) 点対称な図形の意味、対称の中心、対応する辺、対応する点、対応する角、点対称の性質が分かり、指摘することができる。(知識・技能) 点対称な図形の作図の仕方が分かり、作図できる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 折って重ねるなどの活動を通して、図形を分類したり調べたりして、分かったことを説明できる。 線対称な図形の作図の仕方を考え、作図し、説明できる。 回して重ねるなどの活動を通して、図形を分類したり調べたりして、分かったことを説明できる。 点対称な図形の作図の仕方考え、作図し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りから線対称な図形や点対称な図形を見つけ、その安定性や美しさに気付くとともに、基本的な図形を、線対称や点対称の見方で捉えようとしている。
2. 文字と式		<ul style="list-style-type: none"> xなどの文字を使った式の表し方を理解し、立式し、計算によってxにあてはまる数を見つけて、問題を解決できるとともに、x、yなどの文字を用いて数量の関係を式に表すことができる。 問題場面の数量の関係を、文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする力を身に付ける。 文字を使って式に表すよさに気付き、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量の大きさをxを用いた式で表せることが分かる。(知識) xを用いた式のxにあてはまる数の求め方が分かり、xにあてはまる数を求めることができる。(知識・技能) 数量の関係をx、yの文字を用いた式の表し方が分かり、x、yの文字を用いて式に表すことができる。(知識・技能) x、yを用いた式から具体的な場面が分かる。(知識) 未知数をxとした式の表し方が分かり、式に表すことができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 数量の大きさをxを用いて立式し、問題の解決の仕方考え、解決し、説明できる。 数量の関係を、x、yの文字を用いた式に表す仕方考え、表現し、説明できる。 x、yを用いて表された式から、場面を考え、表現できる。 未知数をxとして式に表し、問題の解決の仕方考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 未知数をxとして式に表すこと、数量の関係をx、yの文字を用いて式に表すよさが分かり、問題解決に活用しようとしている。

<p>3. 分数のかけ算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×整数、分数÷整数、分数×分数の意味と立式、計算の仕方を理解し、計算できるとともに、分数のかけ算でも計算のきまりが成り立つことを理解し、計算の工夫ができる。 ・分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算の仕方を考えたり、計算のきまりを見つけて計算の工夫をしたりする力を身に付ける。 ・分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算に習熟し、問題の解決に活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数×整数の意味、式の表し方、計算の仕方や途中の約分の仕方が分かり、計算でき、途中の約分ができる。(知識・技能) ・分数÷整数の意味、式の表し方、計算の仕方や途中の約分の仕方が分かり、計算ができ、途中の約分ができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や図、数直線を基にして、分数×整数の計算の仕方を考え、計算し、説明できる。 ・既習事項や図、数直線を基にして、分数÷整数の計算の仕方を考え、計算し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や数直線を手掛かりに、かけ算(分数×整数)やわり算(分数÷整数)を判断して、問題解決に活用しようとしている。
<p>4. 分数のわり算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分数÷分数、3口の分数のかけ算とわり算の混じった計算、分数と小数と整数の計算の意味と立式、計算の仕方(逆数を用いて分数×分数にする)を理解して計算できる。 ・分数÷分数、3口の分数かけ算とわり算の混じった計算、分数と小数と整数の計算の仕方を考えたりする力を身に付ける。 ・分数÷分数の計算の習熟し、問題の解決に活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数÷分数の意味と立式、計算の仕方が分かり、計算できる。(知識・技能) ・整数÷分数を、分数÷分数に直して計算する仕方が分かり、計算できる。(知識・技能) ・3口の分数のかけ算やわり算が混じった計算の仕方が分かり、計算ができる。(知識・技能) ・分数と小数と整数の混じった計算の仕方が分かり、計算ができる。(知識・技能) ・分数のわり算のわられる数と商の関係が分かる。(知識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基にして、分数÷分数の計算の仕方を考え、計算し、説明できる。 ・既習事項を基にして、整数÷分数、3口の分数のかけ算やわり算が混じった計算、分数と小数と整数の混じった計算の仕方を考え、工夫して計算し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数÷分数の計算を練習し、手際よく計算しようとしている。
<p>5. 比</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比の意味や表し方、比は割合の表し方の一つであること、比の値と求め方及び比の相等関係を理解し、整数や小数、分数で表された比を簡単な整数の比に直すことができるとともに、比の性質を活用して問題を解決できる。 ・数量の関係に目を付け、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考え、比を活用して問題解決をする力を身に付ける。 ・比の性質を活用して、生活や学習の中で問題を解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比の意味と記号(:)を用いた表し方が分かり、数量の割合を比で表すことができる。(知識・技能) ・比の値の意味と求め方が分かり、比の値を求めることができる。(知識・技能) ・比の性質を用いた問題の解決の仕方が分かる。(知識) ・等比関係や比例配分が分かり、問題が解決できる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の割合の表し方を考え、その割合が比を用いて表せることに気づき、表し、説明できる。 ・比の考えを用いて問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比や比の値、等しい比、比のよさが分かり、これらを生活や学習の中の問題解決に活用しようとしている。

<p>6. 拡大図と縮図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大図や縮図の意味や性質、かき方を理解できるとともに、縮尺の意味と表し方、縮図や地図の実際の長さの求め方を理解し、縮図を利用した測定の工夫ができる。 ・拡大図や縮図のかき方、縮図の実際の長さの求め方を考え、それを利用して測定を工夫する力を身に付ける。 ・拡大図や縮図のよさが分かり、生活や学習の中で生かそうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大図の意味や読み方、性質が分かる。(知識) ・拡大図と判断し、読み取ることができる。(技能) ・縮図の意味や読み方、性質が分かる。(知識) ・縮図と判断し、読み取ることができる。(技能) ・拡大図のかき方が分かり、かくことができる。(知識・技能) ・縮図のかき方が分かり、かくことができる。(知識・技能) ・縮尺の意味と表し方が分かり、縮図と縮尺を使って、実際の長さの求め方が分かる。(知識) ・縮図と縮尺を使って、縮図や地図の実際の長さを求めることができる。(技 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大図と元の図形との対応する辺の長さ、対応する角の大きさの関係を調べ、特徴を説明できる。 ・縮図と元の図形との対応する辺の長さ、対応する角の大きさの関係を調べ、特徴を説明できる。 ・拡大図の性質を基にして、拡大図のかき方を考え、かき、説明できる。 ・縮図の性質を基にして、縮図のかき方を考え、かき、説明できる。 ・縮図を利用して、実際の長さや高さの求め方を考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで、拡大図や縮図を見つけ、使われている場面に気づき、既習事項や性質を基に拡大図や縮図のかき方を考えようとしている。 ・生活や学習の中で、縮図や地図を利用して、いろいろなところを測定したり、問題を解決したりしようとしている。
<p>7. 円の面積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円の面積の求め方と公式を理解し、円の面積の公式を活用しておうぎ形や円を含む複合図形の面積が求められる。 ・既習の基本図形の面積の求め方に帰着させ、円の面積の求め方を考え、それを公式にまとめる力を身に付ける。 ・円を等分割して基本図形に並べ替えるなどの活動を通して、円の面積の求め方を考えようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円の面積の求め方と公式が分かる。(知識) ・公式を用いて円の面積を求めることができる。(技能) ・おうぎ形や円を含む複合図形の面積の求め方が分かる。(知識) ・円の面積の公式を用いて、おうぎ形や円を含む複合図形の面積を求めることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・円を等分割して基本図形に並べ替え、円の面積の求め方を考え、求め、説明できる。 ・円の面積を求める公式をまとめ、説明できる。 ・おうぎ形や円を含む複合図形の面積の求め方を考え、求め、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円を等分割して基本図形に並べ替え、円の面積の求め方を考えようとしている。 ・円の面積の公式を用いて、おうぎ形や円を含む複合図形の面積を工夫して求めようとしている。
<p>8. 角柱と円柱の体積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱や円柱の体積の求め方と公式を理解し、公式を用いて体積が求められる。 ・既習の基本図形の体積の求め方に帰着させ、角柱や円柱の体積の求め方を考え、公式にまとめる力を身に付ける。 ・生活や学習の中で、公式を活用して角柱や円柱の体積を求めようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱の体積の求め方と公式(角柱の体積)＝(底面積)×(高さ)が分かる。(知識) ・公式を用いて角柱の体積を求めることができる。(知識・技能) ・円柱の体積の求め方と公式(円柱の体積)＝(底面積)×(高さ)が分かる。(知識) ・公式を用いて円柱の体積を求めることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・直方体の体積の求め方を基にして、角柱の体積の求め方を考え、公式にまとめ、求め、説明できる。 ・前時までの学習を基にして、円柱の体積の求め方を考え、公式にまとめ、求め、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱や円柱の体積に関心をもち、生活や学習の中で公式を活用して求めようとしている。

<p>9. およその面積と体積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの形のおよその面積や体積が求められる。 ・身の回りの形の構成する要素や性質から面積や体積の求め方を考える力を身に付ける。 ・既習の面積や体積の求め方を基に、身の回りの形の面積や体積を求めようとし、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの形のおよその面積の求め方が分かり、およその面積を求めることができる。(知識・技能) ・身の回りの形のおよその体積の求め方が分かり、およその体積を求めることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの形をおよその基本的図形とみて、およその面積の求め方を考え、求め、説明できる。 ・身の回りの形をおよその角柱や円柱とみて、およその体積の求め方を考え、求め、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの形を、およその基本図形や、およその角柱や円柱とみて、およその面積や体積を求めようとしている。
<p>10. 比例と反比例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の意味や比例する2つの数量の変化と対応の関係について理解し、式やグラフに表し、特徴を捉えることができるとともに、反比例の意味や反比例する2つの数量の変化と対応の関係について理解し、式やグラフに表し、特徴を捉えることができる。 ・伴って変わる2つの数量の関係に目を付け、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現したり、変化や対応の特徴を見つけたりする力を身に付ける ・比例や反比例の関係を活用して、生活や学習の中の問題を解決しようとする態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の意味と性質、式やグラフの表し方や読み方が分かる。(知識) ・比例の関係を式やグラフに表せ、表や式やグラフから比例関係を読み取ることができる。(技能) ・比例の關係に着目すると処理しやすいことが分かる。(知識) ・反比例の意味と性質、式やグラフの表し方や読み方が分かる。(知識) ・反比例の関係を式やグラフに表せ、表や式やグラフから反比例の関係を読み取ることができる。(技能) ・反比例の關係に着目すると処理しやすいことが分かる。(知識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係を調べ、比例の關係を見つけ、説明できる。 ・表や式、グラフから比例する2つの数量の変化や対応のきまりを見つけ、表現できる。 ・比例の關係を使って、問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 ・2つの数量の關係を調べ、反比例の關係を見つけ、説明できる。 ・表や式、グラフから反比例する2つの数量の変化や対応のきまりを見つけ、表現できる。 ・反比例の關係を使って、問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習の中で、比例や反比例の關係になっている場面を見つけ、その性質や式とグラフを問題の解決に活用しようとしている。
<p>11. 並べ方と組み合わせ方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・並べ方の場合の数を表や樹形図などを用いて、落ちや重なりのない調べ方を理解し、それらを使って問題の解決を筋道立てて考えることができるとともに、物の組み合わせの数について落ちや重なりのない調べ方が理解でき、これらを活用して問題の解決ができる。 ・事象の特徴に目を付け、落ちや重なりなく調べる方法を考え、それを活用して問題を解決する力を身に付ける。 ・生活や学習の中で、並べ方と組み合わせの考えを使おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・並べ方の場合の数を落ちや重なりのない調べ方が分かる。(知識) ・表や図などを用いて、並べる場合の数を落ちや重なりなく調べることができる。(技能) ・組み合わせの数を落ちや重なりのない調べ方が分かる。(知識) ・表や図などを用いて、組み合わせの数を落ちや重なりなく調べることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・表や図などを用いて、並べる場合の数を順序よく整理し、筋道立てて考え、説明できる。 ・表や図などを用いて、組み合わせの数を順序よく整理し、筋道立てて考え、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習の中で、並べ方の場合の数や組み合わせの数を調べ、問題解決に活用しようとしている。

<p>12. データの調べ方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料の特徴を表す代表値(平均値, 最頻値, 中央値など)の意味を理解し, データを整理したドットプロットや度数分布表の表し方や読み方, 階級, 度数を理解し, 作成し, 読み取ることができるとともに, 柱状グラフの読み方やかき方を理解し, かくことができる。 データの特徴や傾向に目を付け, 代表値などを用いて問題の結論について判断したり, 妥当性があるか考えたりする力を身に付ける。 生活や学習の中で度数分布表や柱状グラフを活用して, 資料の特徴を捉えようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均値によって, 資料の特徴が捉えられることが分かる。(知識) ドットプロットのかき方と, 特徴の捉え方が分かる。(知識) 代表値(平均値, 最頻値, 中央値, 最小の値, 最大の値など)の意味が分かり, 資料の特徴を読み取ることができる。(知識・技能) 散らばりによって, 資料の傾向や特徴が捉えられることが分かる。(知識) 資料を度数分布表に表す仕方や, 階級と度数の意味が分かり, かいったり, 読み取ったり, 比べたりできる。(知識・技能) 柱状グラフの意味や代表値などを用いて傾向や特徴の読み取り方が分かり, 読み取ることができる。(知識・技能) 柱状グラフをかくことができ, 資料の傾向や特徴を捉えることに活用できる。(知識・技能) 複数の柱状グラフを用いて, 2つの資料の傾向や特徴の比べ方が分かり, 比べることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 代表値に着目して, 資料の傾向や特徴を調べ, 捉え, 表現し, 説明できる。 散らばりに着目して, 資料の傾向や特徴を調べ, 捉え, 表現し, 説明できる。 柱状グラフから資料の傾向や特徴を調べ, 表現し, 説明できる。 複数の柱状グラフを用いて, 2つの資料の傾向や特徴の比べ方を考え, 比べ, 説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や学習の中で, 代表値や散らばりの観点から資料の傾向や特徴を捉えようとしている。 生活や学習の中で, 柱状グラフに表して, 資料の傾向や特徴を調べようとしている。
--------------------	--	--	--	--